

クラス：B グループ：3 選んだケース：ケース⑤

1. レディネスとニーズ分析

1) ケース

ケース⑤

在留資格	特定技能1号（介護）
在留資格 移行見通し	特定技能1号（介護） ⇒在留資格「介護」（ソー、リン）
日本滞在歴	2年目 但しライさんは技能実習生（繊維・衣服関係）として3年間実習し、2号を修了したため、通算5年目（一度本国へ帰国した後、再来日）。
職種	介護
人数	3名
国籍 人数内訳 学歴等	ミャンマー：ソー（25歳 大卒） リン（26歳 大卒） ベトナム：ライ（22歳 高卒） ※全員女性
日本語 学習歴	・ソー、リン：国で自学 ・ライ：技能実習時に入国前講習160時間、入国後講習160時間を受講
日本語 能力等	・利用者さんとの短いやり取りや、仕事上のルーティン化された業務についての日本人介護スタッフとのやり取りはできるが、利用者家族など、外部の人と話すことには慣れていない。 ・ある程度パターン化された申し送りなどはできるが、発音や文法的な間違いのため時々聞き取りにくいことがある。 ・ライさんは日本での実習経験があるが、初来日のソーさん、リンさんと話すかに大きく差があるとは感じられない。 ・ライさんは来日前にN3を受験したが、不合格。
就労状況	特別養護老人ホームで就労中。日勤のみ。まだ夜勤はしていない。 月曜日～金曜日：9:00～18:00 土曜日・日曜日は休み
学習期間 学習時間数	6か月 週2回 平日：夜1時間半／土曜日：午後2時間
所属機関・ 受講者の 要望	【施設の要望】 ・挨拶や謝る、ほめる、お願いするなど、同僚や利用者と同様な人間関係を築くのに必要な日本語の言い方を学んでもらいたい。 ・利用者家族など外部の人と話すときの丁寧な言い方、敬語が使えるように。 ・日本語だけでなく、日本の生活習慣や季節の話題など利用者さんとのやりとりが深まるような日本についての知識もあればよい。 【外国人材の要望】 ・日本語をきちんと勉強してN3に合格したい。 ・介護の専門用語や仕事で必要な会話を勉強したい。 ・ソーさん、リンさんは母国の病院で看護助手の経験があり、介護福祉士国家試験に合格して、将来は日本で介護福祉士として働きたいと思っている。
その他	施設が借り上げたマンションで3人でルームシェア

【本コースにおけるニーズ領域】

【利用者との会話】

- ・ニュースや天気などの話題で声をかける。
- ・相手の話を理解し、共感する。
- ・自分の話をする。(家族、趣味、国のことなど)
- ・丁寧な表現や適切な敬語を使う。
- ・プライバシーに配慮した会話をする。
- ・日本の生活習慣や季節、行事などを知る。

【同僚や上司との会話】

- ・文構造での指示・説明・ルールを理解する。
- ・文構造での報告、申し送りをする。(口頭、パソコンやラインへの入力、決まった書式への記入)
- ・わからないことを聞く。聞き返す。
- ・依頼する。(できないことを代わってもらう、シフトの交代をお願いするなど)
- ・挨拶する、感謝する、謝罪する。
- ・現場で使うことばや言い回しを理解し、使用する。

【外部の人との会話】

- ・相手の話を理解する。
- ・丁寧な表現や適切な敬語を使う。
- ・必要な情報を相手にわかるように伝える。(利用者家族、業者、緊急通報など)

【JLPT/介護福祉士試験】

- ・読み解く。
- ・専門用語を理解する。
- ・自律学習をする。

【レベル】

- ・A1～A2→A2.2

2. シラバスデザイン

1) コースの方針

- ・会話練習中心の授業を通して、日本独自の慣習や敬語表現などを学ぶ。そして、職場での円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーション能力を習得する。
- ・学習者がそれぞれ目指している資格試験等に各自で計画的に取り組めるよう、自律学習の方法を身に付ける。

2) コースの目標

3つの場面

- ①利用者との日常的な話題で雑談できる。(やりとり)
- ②利用者に対して、敬意を持ち、プライバシーに配慮した内容で共感しながら話を聞くことができる。(やりとり)

③同僚や上司に対して、適切な言葉づかいで報告・連絡・相談などができる。

例) 引継ぎ(パソコンの入力、ラインでの入力、手書きの場合も) (読み・書き)

例) わからないことを聞く、感謝の気持ちを伝える、できないことをお願いする、相談する(シフトの交代をお願いする)、報告、提案、利用者についての情報共有(やりとり)

④利用者の家族に利用者の様子を伝える際、また施設に出入りする業者に対応する際に、丁寧な言葉づかいや態度で対応することができる。(緊急通報含む)

⑤介護福祉士試験を受けることができる。(読み解く力)

目標とするレベル(現在→目標)

・話す、聞く、読む、書く力・・・A1～A2→A2.2

3) シラバス

学習項目	目標
<u>利用者と雑談する</u> ・日本の生活習慣などを知る。 ・天気予報、ニュースから情報を得る。 ・話しかける、相手の話を聞く、相槌、敬語、話題を広げる。	<u>利用者に敬意を払い、日常的な話題で共感しながら雑談ができる</u> ・日本の生活習慣などがわかる。 ・天気予報、ニュースを聞いて、そのことについて話すことができる。 ・話しかけたり、相手の話を聞く際に、相槌や敬語を用いて、話題を広げることができる。
<u>上司や同僚とのやりとり</u> ・報告(自分がしたこと、利用者の状況など) ・送り書、カルテなどへの記入 (読む、書く)	<u>上司や同僚とのやりとりが適切にできる</u> ・口頭で報告(自分がしたこと、利用者の状況など)することができる。 ・送り書、カルテなどへの記入ができる。 (読む、書く)
<u>利用者の家族とのやりとり</u> ・報告(利用者の様子を伝える、専門用語を使わない、敬語)	<u>利用者の家族とのやりとりが適切にできる</u> ・口頭で報告(利用者の様子を伝える、専門用語を使わない、敬語)することができる。
<u>試験対策</u> ・介護福祉士試験へ向けて ・自律学習への道筋をつける。	<u>試験対策</u> ・介護福祉士試験へ向けて、自主的に取り組むことができる。

4) 評価方法

評価項目	評価方法
現段階の学習者のレベルを測る	プレイスメントテスト

相手に応じて適切な話し方でやりとりができる(利用者、外部の人)	ロールプレイ (利用者との雑談、外部の人への対応、緊急通報) ピア評価
上司や同僚に対して適切な話し方で報連相ができる。	筆記テスト(択一式・筆記)
介護福祉士や JLPT に合格するために、自律学習ができる。	自主学習の取り組み状況を発表、小テスト、模擬試験など
自己表現	スピーチ (自分のことを伝えられる・学習者同士の学び合い)
自己評価	ポートフォリオ (最初に自分の目標設定をする。小テストやスピーチ原稿、ロールプレイを録音しておいて、自身の成長を確認してもらう)

3. カリキュラムデザイン (学習計画および学習目標)

授業時間数			
87.5 時間(週 2 回 平日夜 1 時間半/土曜日午後 2 時間 計 25 週)			
回	授業内容・教室活動	目標	教材番号・使用箇所
1	<u>オリエンテーション</u> ・自己紹介 ・授業の目標と進め方 ・自主学習の方法 ・ポートフォリオの作成 ●プレイスメントテスト	・初めて会う人に自己紹介ができる。 ・学習者のレベルを知る。学習者自身も、現段階の自分のレベルを知る。 ・自主学習の方法を知る。	① 第1課2
2 3 4	<u>利用者と雑談する</u> ・日本の生活習慣などを知る。 ・ことばの確認 ・リスニングクイズ ・表現の形 (文型など) ・モデル会話を使ってロールプレイ ・いざオンライン学習で自立学習を促す	<u>利用者に敬意を払い、日常的な話題で共感しながら雑談ができる</u> ・日本の生活習慣などがわかる。 ・季節、行事、地理、自然 ・日本の慣習 (マナー等)	② 第3課1, 2 ① 第1課3 第9課1~4 第10課1~4 ① 第16課1~5
5	●自分のことばで話そう→スピーチ	・自国の生活習慣を紹介	
6 7	<u>利用者と雑談する</u> ・動画をみる (利用者との雑談の様子)	・天気予報、ニュースを聞いて、そのことについて話すことがで	② 第3課3~5

8	<p>メッセージを掴む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報、ニュースから情報を得る。 ・ことばの確認 ・リスニングクイズ ・表現の形（文型など） 「秋がいちばん好きです」 「昨日はすごい雨でしたね」 ・モデル会話を使ってロールプレイ ●ロールプレイ ・自分のことばで話そう。 	<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節・天気、 ・最近のニュース 	第4課 1～3
9	<p><u>レクリエーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相撲 or 野球をみる ・時期によっては節分や花見など 	日本の文化を知り、利用者との話のきっかけを増やす	
10 11	<p><u>利用者と雑談する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話しかける、相手の話を聞く、相槌、敬語、話題を広げる。 ・ことばの確認 ・場面に応じた声かけの例を見る。 →朝のあいさつ、仕事が終わった時 →寝る前 ・モデル会話を使ってロールプレイ ・実際の場면을想定してロールプレイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・話しかけたり、相手の話を聞く際に、相槌や敬語を用いて、話題を広げることができる。 	③ I 第7章 1, 2 II 第7章 2 第8章 6
12 13	<p><u>上司や同僚とのやり取り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な敬語を使って、業務を進める。 ・ことばの確認 ・リスニングクイズ ・表現の形（文型など） 「使い方を教えてもらえませんか？」 「どうすればいいですか？」 ・シャドーイング ・モデル会話を使ってロールプレイ 	<p><u>上司や同僚とのやりとりが適切にできる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・依頼、お願い ・相談 	② 第13課 1, 3, 4 第14課 2, 3 ⑤
14	<ul style="list-style-type: none"> ●筆記テスト（択一式） ●ロールプレイ ・自分のことばで話そう。 	コースが始まって半ばくらいなので、どのくらい理解しているか、アウトプットとできるか測る	
15 16	<p><u>上司や同僚とのやり取り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告(自分がしたこと、利用者の状況など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭で報告(自分がしたこと、利用者の状況など) することが 	② 第13課 2

17	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの確認 ・リスニングクイズ ・表現の形（文型など） 「10分ぐらいで終わりそうです」 「だいじょうぶです」 ・場面に応じた声かけの例を見る。 →ナースコールが鳴った時 →シフトの希望を言う ・モデル会話でロールプレイ ・自分のことばで話そう。 	できる。	第14課1、4 ③ Ⅱ第7章1、3 第8章7
18 19	<u>上司や同僚とのやりとり</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申送り書、カルテなどへの記入（読む、書く） ・ ことばの確認 ・ 表現の形（文型など） 社内メールを読んで理解する。 ・ 場面に応じた声かけの例を見る。 →朝の申し送り（口頭） ・ 実際の現場で使われているフォームで、申し送り書へ記入したり、メールやラインの打ち込みをしたりする。 ●筆記テスト（記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申送り書、カルテなどへの記入ができる。 （読む、書く）	② 第13課 5 ③Ⅱ第7章1、3
20 21 22	<u>利用者の家族とのやりとり</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な敬語で、利用者家族（外部の人）と話す。 報告（利用者の様子を伝える、専門用語を使わない） <ul style="list-style-type: none"> ・ 敬語の練習 ・ 場面に応じた声かけの例を見る。 →家族が帰るとき ・ モデル会話を使ってロールプレイ ・ 実際の場面を想定してロールプレイ 	<u>利用者の家族とのやりとりが適切にできる</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口頭で報告（利用者の様子を伝える、専門用語を使わない、敬語）することができる。 	③ Ⅰ第7章2 Ⅰ第8章 1～5 ⑤
23	●実際の場面を想定してロールプレイ		
24	<u>介護士国家試験対策</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の時間で模擬試験を行う。 ・ 答え合わせ/解説 	<u>介護士国家試験に合格できる専門知識を身に付けることができる</u>	④

	・ 自律学習のやり方、ツールについて復習	・ 模擬試験で実力を試す ・ 苦手領域を知る ・ 結果を今後の学習に活かす	
25	まとめ ・ ポートフォリオ制作 ・ 施設の利用者さんなどを呼んで発表 ・ レクリエーション	・ 学習者が目標に到達できたか確認する ・ コース終了後の学習方法などについてアドバイス ・ 利用者や仕事仲間とコミュニケーションをとる	

教材

教材番号	教材名	著者	出版社
①	いろいろ 生活の日本語 初級2	磯村一弘、藤長かおる、伊藤由希子、湯本かほり、岩本雅子、羽吹幸、古川嘉子	独立行政法人国際交流基金日本語国際センター
②	いろいろ 生活の日本語 初級1	磯村一弘、藤長かおる、伊藤由希子、湯本かほり、岩本雅子、羽吹幸、古川嘉子	独立行政法人国際交流基金日本語国際センター
③	介護のにほんご		公益社団法人日本介護福祉会
④	外国人のための介護福祉士国家試験対策 2026		公益社団法人日本介護福祉会
⑤	新・にほんご敬語トレーニング		アスク出版
⑥	人とつながる 介護の日本語	嶋田和子／小倉和也	アルク

以上